

日本国内 自動車解体事業者様向け



リチウムイオンバッテリー 取り外し・回収マニュアル シーマハイブリッド(HGY51型)

2020 年 4 月

目次

1. はじめに	3
(1) はじめに	3
(2) リチウムイオンバッテリー取り扱い時の注意事項	4
(3) 安全な回収のための重要事項	5
1) 高電圧回路の遮断	5
2) 高電圧コネクタ、端子の処理	5
3) 転売・譲渡・改造・二次利用の禁止	5
2. リチウムイオンバッテリー引き取り依頼	6
(1) 引き取り依頼	6
(2) お引き取りに関する依頼及び注意事項	6
3. 安全な作業を行うための重要事項	7
(1) 特別教育、指名作業の義務付け	7
1) 労働安全衛生法	7
2) 電子医療機器装着者の作業禁止	7
(2) 高電圧作業上の注意	7
1) 安全に関する表記について	7
2) 警告	7
3) 高電圧ハーネス、機器の識別	8
4) 高電圧コネクタ、端子の処理	8
5) 作業中の携帯禁止品	8
6) 取り外したリチウムイオンバッテリーの保管	8
7) 「高電圧作業中」の表示	8
4. 液漏れへの対応	10
5. 引き取りをお断りする事例	11
6. 安全な取り外しのために	12
(1) 車両外観上の特徴	12
(2) 型式確認	13

目次

(3) 本マニュアルの見方	14
(4) 準備品	14
7. 高電圧系部品と配線の位置	16
8. リチウムイオンバッテリー仕様	17
9. リチウムイオンバッテリー取り外し	18
(1) 放電手順	19
(2) 遮断手順	20
(3) リチウムイオンバッテリー取り外し手順	21
(4) リヤシート取り外し手順	33
10. 引き取りの準備	35

1. はじめに

(1) はじめに

リチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアル（以下「本マニュアル」）は、当社が製造・販売するハイブリッド車が日本国内において廃車になった際、搭載されているリチウムイオンバッテリーを回収・リサイクルするための解体事業者向けマニュアルです。

リチウムイオンバッテリーは高電圧であり、作業の取り扱いを誤ると感電など思わぬ重大傷害につながるおそれがあります。

安全に作業していただくために、事前に本マニュアルをよくお読みいただき、注意事項を遵守してください。

車種によりバッテリーユニットの形状、取り外し方法等が異なりますので、必ず車種をご確認の上、対応するリチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアルを熟読いただき、安全な作業を行ってください。

本マニュアル、及び各車種のリチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアルは、日産自動車ホームページにも記載しており、今後発売する車種についても順次掲載していきます。

URL: https://www.nissan-global.com/JP/SUSTAINABILITY/ENVIRONMENT/A_RECYCLE/BATTERY/

(2) リチウムイオンバッテリー取り扱い時の注意事項

日産自動車(株)では、当社製リチウムイオンバッテリーの転売・譲渡・改造・二次利用等による事故・損害等については、その一切の責任を負いかねます。

使用済リチウムイオンバッテリーの取り扱い時には、以下の注意事項をご確認の上、十分ご注意ください。なお、以下の注意事項を遵守しない場合は、重大な損害や法的責任が発生する場合があります。

二次利用・高電圧に関する注意

リチウムイオンバッテリーは分解・改造または不適切な二次利用を行うと、感電、発煙・発火、電解液漏出事故等が発生し、重大事故に繋がる恐れがあります。

また、リチウムイオンバッテリーは高電圧であり、取り扱いを誤ると感電等重大事故の恐れがあります。取り扱い時には以下の項目を遵守してください。

- 分解、改造などバッテリーに手を加えないこと
- 高所からの落下などバッテリーを破損させるような衝撃を与えないこと(衝撃を加えられると火災や液漏れが発生するおそれがあります。)
- 直射日光/雨水があたらない場所で保管すること
- 取り外したバッテリーは火に近づけたり、加熱したりしないこと

(3) 安全な回収のための重要事項

1) 高電圧回路の遮断

ハイブリッド車は、最大 400V 程度の高電圧バッテリーを有しています。取り外し作業を行う前に、必ずサービスプラグを引き抜き、高電圧の遮断措置を行ってください。

サービスプラグを抜かずに高電圧部位の解体、分解、切断等を行うと感電による重度の火傷又は重大傷害や最悪の場合、死亡に至る可能性があります。

2) 高電圧コネクタ、端子の処理

電気自動車から取り外したリチウムイオンバッテリーは高電圧のため取扱いに注意が必要です。取り外した高電圧ハーネスコネクタ、端子は取り外し後直ちに絶縁処理を行ってください。

3) 転売・譲渡・改造・二次利用の禁止

安全上の事故防止のため、絶対に転売・譲渡・改造または不適切な二次利用をしないでください。リチウムイオンバッテリーが適切に回収されずに改造されたり、転売・譲渡、又は不法投棄により第三者に渡ると、相手方でこれらの危険性が認識されず、重大な事故を引き起こすおそれがあります。

車両からリチウムイオンバッテリーを取り外した後は、速やかに自動車再資源化協力機構（自再協）HP より回収を依頼してください。

2. リチウムイオンバッテリー引き取り依頼

リチウムイオンバッテリーを搭載したまま車両のソフトプレス等を行うと、発火のおそれがありますので、必ず取り外してください。

(1) 引き取り依頼

下記、自動車再資源化協力機構（自再協）HP より回収を依頼してください。

自動車再資源化協力機構（自再協）
LiB 事業部 LiB 回収グループ
お問い合わせ (TEL) ⇒ 0570-000-994
回収依頼 ⇒ <http://www.lib-jarp.org>

(2) お引き取りに関する依頼及び注意事項

1) 取り外し・回収マニュアル掲載ホームページアドレス

リチウムイオンバッテリーの具体的な取り外し作業は、各車両別の取り外し・回収マニュアルに沿って行ってください。

下記ホームページ上で最新版をご確認ください。

取り外し・回収マニュアル掲載ホームページアドレス

https://www.nissan-global.com/JP/SUSTAINABILITY/ENVIRONMENT/A_RECYCLE/BATTERY/

3. 安全な作業を行うための重要事項

(1) 特別教育、指名作業の義務付け

1) 労働安全衛生法

労働安全衛生法 第 59 条及び労働安全衛生規則第 36 条（特別教育、指名作業）

高電圧回路に関わる点検・整備を行う作業者には労働安全衛生法第 59 条ならびに労働安全衛生規則第 36 条に定められた特別教育の受講が義務付けられており、指名作業の手続きを取る必要があります。

- 2) 電子医療機器装着者の作業禁止車両には強力な磁石を持つ部品が使われています。ペースメーカー等の電子医療機器装着者は、それらの機器に接近すると磁力の影響を受けるおそれがあるので、車両の作業は絶対に行わないでください。

(2) 高電圧作業上の注意

1) 安全に関する表記について

以下の項目は、安全に関して特に重要な事項を説明しています。必ずお読みください

危険：守らないと死亡、又は重大な障害につながる事項及び作業要領

警告：守らないと生命の危険、又は重大な障害につながるおそれのある事項及び作業要領

注意：守らないと障害や事故、又は車両や構成部品の損傷につながるおそれのある事項及び作業要領で、特に注意すべき事項

2) **警告**：以下の警告事項を遵守して作業を実施すること。

- ・ハイブリッド車は高電圧リチウムイオンバッテリーを有しているため、取り扱いを誤ると感電、漏電などのおそれがある。取り扱い時は、作業手順に従い正しい作業を実施すること。
- ・高電圧系の作業を実施する際は、必ず絶縁保護具を着用すること。
- ・高電圧系のハーネス、及び部品の取り扱い時は、高電圧回路を遮断するため、必ずサービスプラグを取り外すこと。

安全な作業を行うための重要事項

- ・ 取り外したサービスプラグは、作業中に他の人が誤って接続することがないように、必ずポケットに入れて携帯すること。
- ・ 高電圧作業時は、担当者を明確にし、他の人が車両に触れないようにすること。また、作業時以外は耐電カバーシート等で高電圧部品を覆い、他の人が触れないようにすること。
- ・ リチウムイオンバッテリーを破損させるような衝撃を与えないこと。
(ニブラを使った解体、リチウムイオンバッテリーが搭載されている状態でのプレス、フォークリフト等による突き刺し、高所からの落下等)

3) 高電圧ハーネス、機器の識別

高電圧ハーネス、コネクタはオレンジ色に統一してある。

また、リチウムイオンバッテリーをはじめ高電圧機器には「高電圧」のオレンジ色のラベルが貼り付けてあるので、これらのハーネスや部品には不用意に触れないこと。

4) 高電圧コネクタ、端子の処理

取り外した高電圧ハーネスコネクタ、端子は取り外し後直ちにリチウムイオンバッテリー側に絶縁テープを貼り絶縁すること。

5) 作業中の携帯禁止品

高電圧と強力な磁力を持つ部品が使われているので、短絡のおそれのある金属製品や、磁気記録破壊のおそれのある磁気記録媒体（キャッシュカード、プリペイドカード等）を身につけて作業を行わないこと。

6) 取り外したリチウムイオンバッテリーの保管

- ・ 雨水にぬれない場所、直射日光に当たらない場所で保管すること。
- ・ 取外したリチウムイオンバッテリーは火に近づけたり、加熱しないこと。
- ・ バッテリーパックは単品を重ねて運搬または保管はしないこと。
- ・ 棚へ保管する場合は落下防止策を確実に実施すること。
- ・ 取外したバッテリーパックは速やかに回収依頼をすること。

7) 「高電圧作業中」の表示（次ページ参照）

高電圧系の作業を行っている車両には「高電圧作業中に付き触るな！」の表示を行い、他の作業者にも注意を喚起する。

作業担当者

高電圧作業中に付
き触るな！



警告！

警告！



高電圧作業中に付
き触るな！

作業担当者

4. 液漏れへの対応

リチウムイオンバッテリーの電解液は無色透明で芳香臭があります。

電解液は、万が一リチウムイオンバッテリーが破損した場合にも、リチウムイオンバッテリーから大量に流出することはありません。

万が一、リチウムイオンバッテリーの電解液が漏れている場合は引火性があるため、直ちに火気より遠ざけてください。十分に換気を行い、電解液は耐溶剤保護具を着用してウエス等で拭き取ってください。

また、液漏れした電解液及びその蒸気は、空気中の水分と反応して酸性の物質を生成する可能性があり、皮膚や目に刺激性があるため、万が一、電解液に触れたり目に入ったりした場合は、多量の流水でよく洗い流し、速やかに医師の診断を受けてください。

リチウムイオンバッテリー電解液以外のフルードは、エンジン車両で使用されている一般的な自動車フルードと同様です。エンジン車両の場合と同様の処置を行ってください。

注意：電解液漏出時に用いる吸着マット、ウエスの廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の産廃業者に委託してください。

5. 引き取りをお断りする事例

本マニュアル対象外のリチウムイオンバッテリー、又は車種別取り外し・回収マニュアルに沿わない取り外しによるリチウムイオンバッテリーは原則として引き取りはお断りさせていただきます。

本マニュアル対象のリチウムイオンバッテリーは、以下の条件を全て満たしているものとします。

- ・ 2010 年 11 月以降に発売された
- ・ 日産自動車製車両に搭載されている
- ・ 駆動用のリチウムイオンバッテリー

引き取り対象外のリチウムイオンバッテリーであるため、引き取りをお断りする事例
(代表例)

- (1) 他社製車両搭載のリチウムイオンバッテリー
- (2) 自社で取り外し作業を実施していないリチウムイオンバッテリー

本マニュアルに沿った取り外しが行われていないため引き取りをお断りする事例
(代表例)

- ① サービスプラグを外していないもの
- ② オレンジ色の高電圧配線類を切断しているもの
- ③ ニブラ等重機を用いたためリチウムイオンバッテリーが変形・破損したもの
- ④ バッテリーケースを分解したもの
- ⑤ 屋外に長期間放置されて損傷が激しいもの

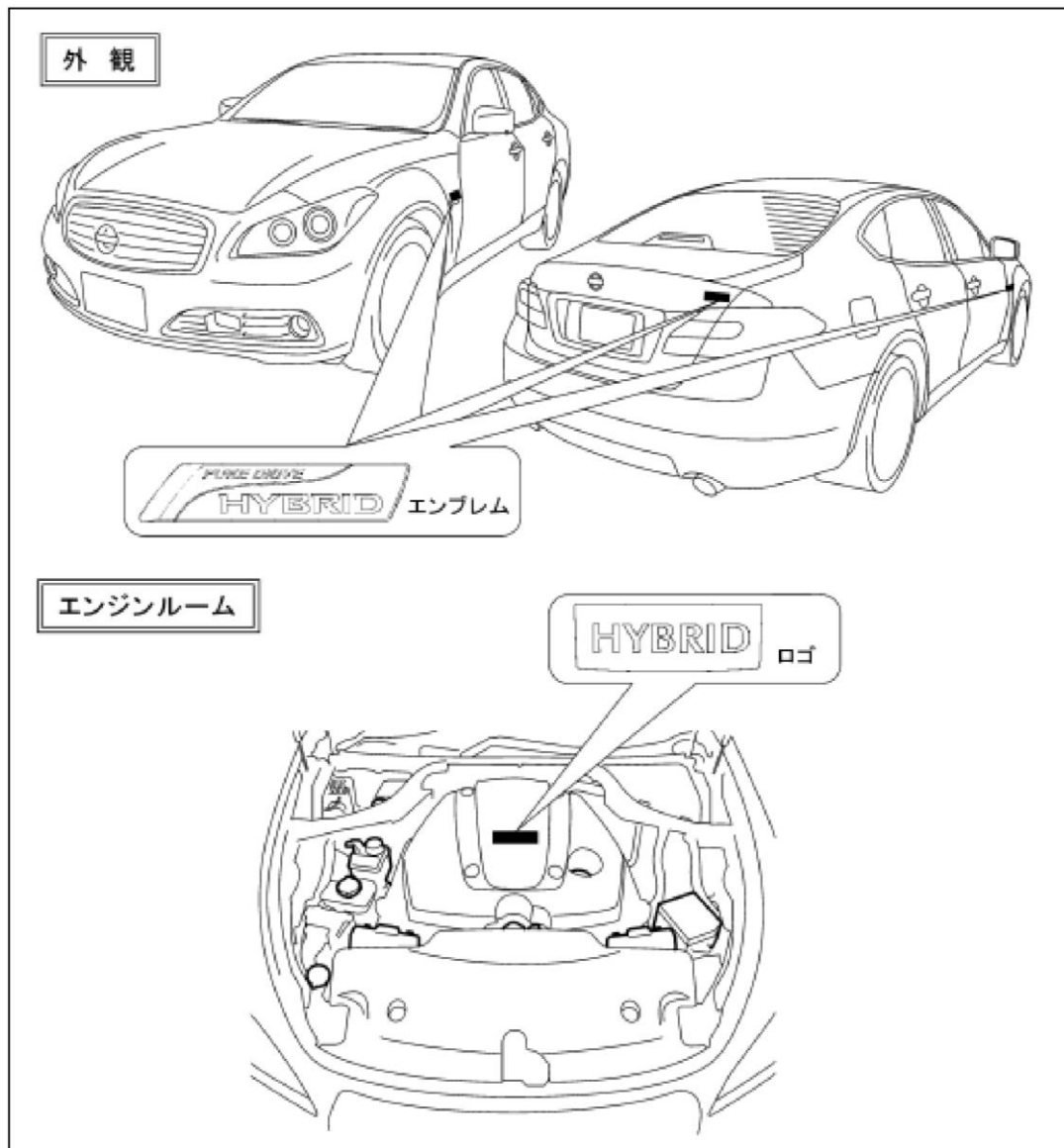
6. 安全な取り外しのために

まず始めに、前項 3. 安全な作業を行うための重要事項 を熟読の上、以下に記載の内容に沿った安全な取り外しを行ってください。

(1) 車両外観上の特徴

本マニュアルは、シーマハイブリッド専用マニュアルです。

下記の特徴から車種を特定してください。

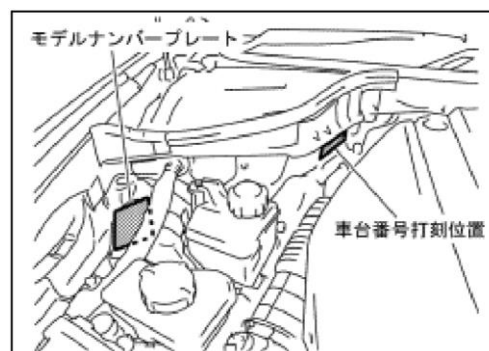


(2) シーマハイブリッドの型式確認

本マニュアルは、シーマハイブリッド HGY51 専用のマニュアルです。

エンジンルーム内のカウルトップパネル右側に打刻されている車台番号と、モデルナンバープレートに刻印されている型式及び車台番号から、該当車種がシーマハイブリッド HGY51 であることを確認して下さい。

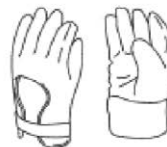
車台番号 例 : HGY51 - 600001



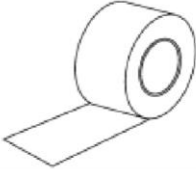
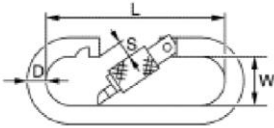
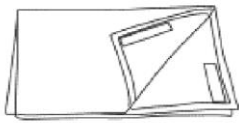
(3) 本マニュアルの見方

記号	意味
 (感電マーク)	高電圧が掛かっている、または掛かっている可能性がある部品、コネクタ等を外す場合に作業を誤ると感電するおそれがある。
 (絶縁手袋)	高電圧部品の取り扱い時に着用する。
 (絶縁安全靴)	高電圧部品の取り扱い時に着用する。
 (耐電ヘルメット)	リフトアップした時の、高電圧部品の取り扱い時に着用する。
 (フェイスシールド／保護メガネ)	高電圧端子、ハーネスの取り扱い時に着用する。 (ショートにより火花が発生する可能性がある。)

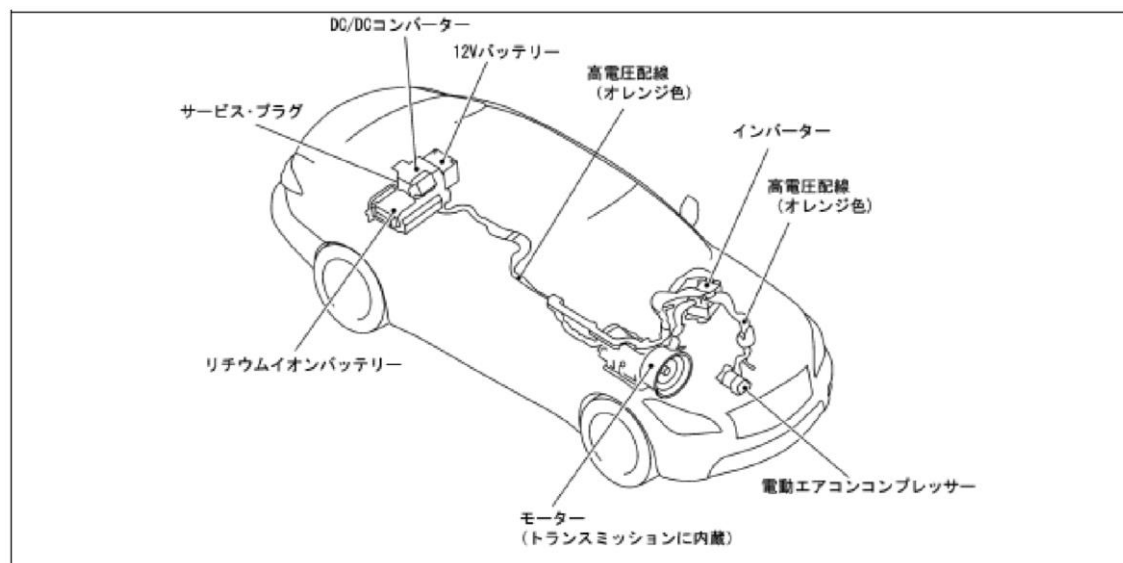
(4) 準備品

名称		用途
絶縁ゴム手袋 (600 V までの低圧作業用)		高電圧系部品の取り外し
保護用皮手袋		- 高電圧系部品の取り外し - 耐電ゴム手袋の保護
耐電安全靴		高電圧系部品の取り外し
保護メガネ／フェイスシールド		高電圧系部品の取り外し

安全な取り外しのために

名称		用途
絶縁テープ		高電圧ハーネスコネクタ、端子の絶縁処理
カラビナ（小）		リチウムイオンバッテリーの取り外し 参考 :D: 8.0 mm L: 74.0 mm S: 10.0 mm W: 22.5 mm
スリングベルト		リチウムイオンバッテリーの取り外し 長さ : 2.0 m
耐電カバーシート		作業中断時の感電防止

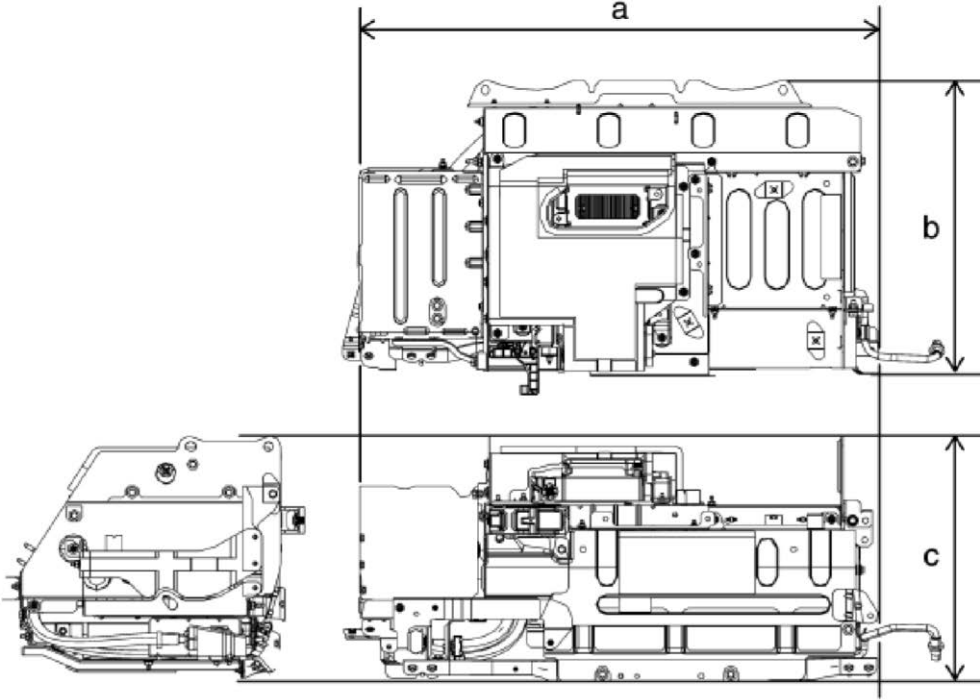
7. 高電圧系部品と配線の位置



リチウムイオンバッテリー仕様

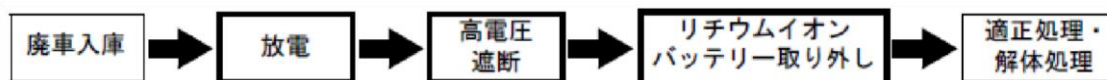
8. リチウムイオンバッテリー仕様

項目	仕様
種類	マンガン系リチウムイオン電池
構成	12 モジュール (96 セル)
定格電圧 (V)	346
重量 (kg)	55

			
バッテリー外形寸法	a	(mm)	798.0
	b	(mm)	453.0
	c	(mm)	374.0

9. リチウムイオンバッテリー取り外し

注意：放電・高電圧遮断・リチウムイオンバッテリー取り外しは、液材やフロンガス抜き取りなどの適正処理前に行うこと。



(1) 放電手順

下記手順に従い、リチウムイオンバッテリーを放電すること

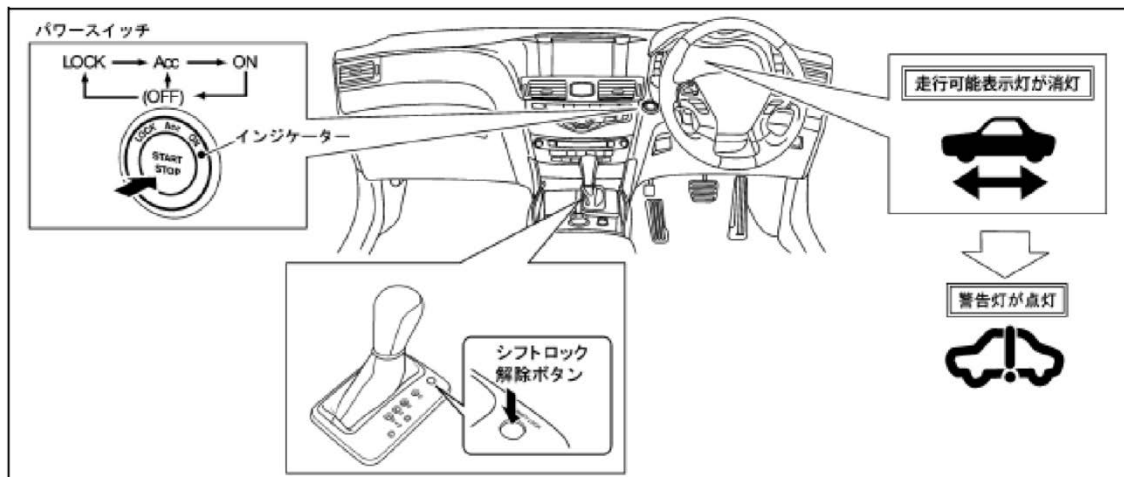
- ① セレクトレバーをPにし、パーキングブレーキを作動させる。車止め等を使い車両が動かないよう固定する。
- ② 運転席のドアを閉め、運転席シートベルトを装着し、ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチの電源ポジションをONにする。走行可能表示灯が点灯することを確認する。
- ③ ・エンジンが始動した場合、アイドリングが停止するまで放置すること。
・エンジンが始動しない場合、次の手順へ進む。

運転席のドアを開けたり、ブレーキペダルを作動させると、リチウムイオンバッテリーの充電が開始されるため、手順④以降は注意して作業を進めること。

- ④ セレクトレバー右上のシフトロック解除ボタンを押しながら、セレクトレバーをNにし、パーキングブレーキを解除する。(シフトロック解除ボタンはマイナスドライバーなど先の細いもので、下まで深く押すこと。)
- ⑤ ヘッドランプ、リヤデフォグラー、エアコン（冷房の最低設定温度）を作動させ、リチウムイオンバッテリーを放電する。(15分程度)
- ⑥ ②で点灯した走行可能表示灯が消灯し、ハイブリッドシステム警告灯が点灯したらパワースイッチの電源ポジションをOFFにする。

以上で放電作業が完了する。

リチウムイオンバッテリー取り外し



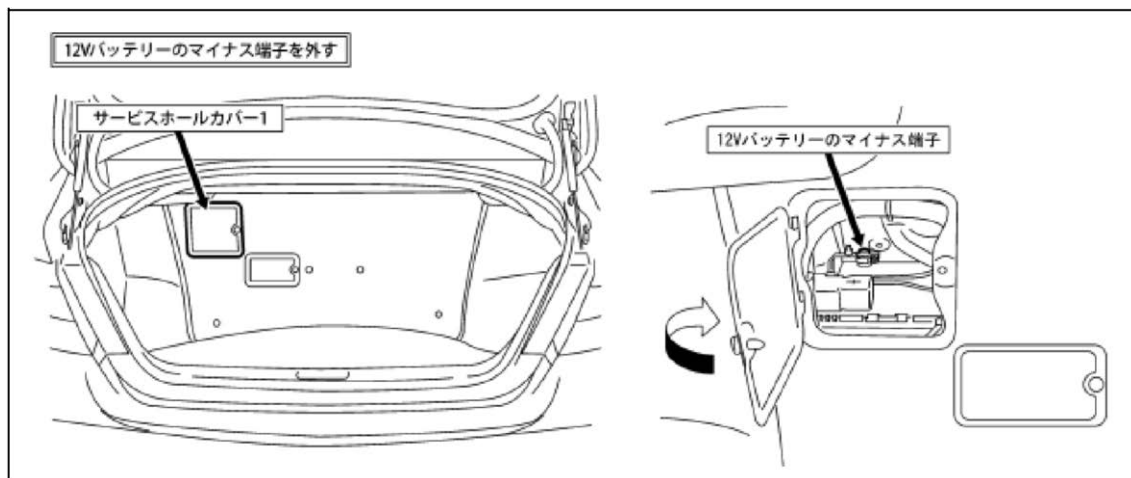
(2) 遮断手順

高電圧系の取り扱いは下記手順に従い、高電圧を遮断すること。

1. パワースイッチの電源ポジションを OFF にする。

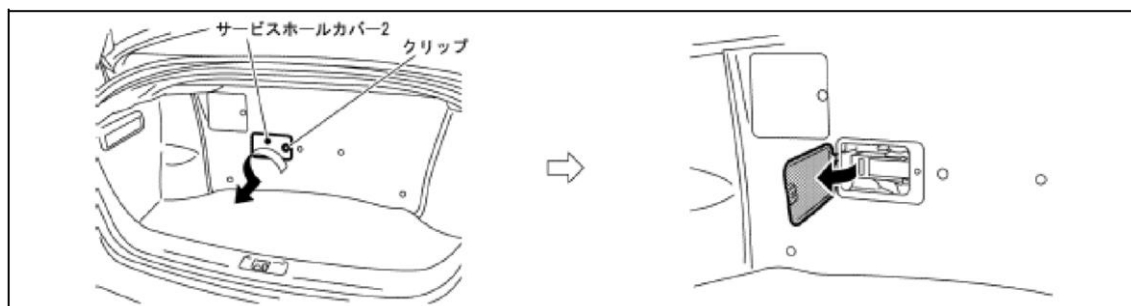
注意: インテリジェントキーは作業者自ら保管すること。

2. トランクルームよりサービスホールカバー1 をめくり、12V バッテリーのマイナス端子を外す。



3. 以下の手順でサービスプラグを取り外す。

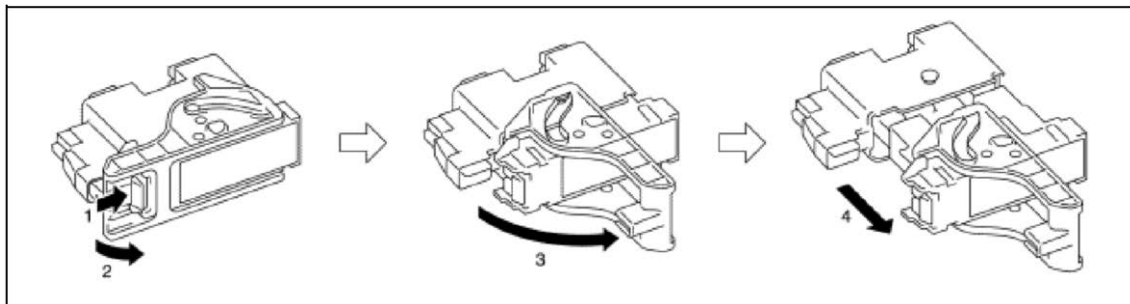
- 3-1. トランクフィニッシュフロントのクリップを外し、サービスホールカバー2 をめくる。



リチウムイオンバッテリー取り外し

3-2. 図の手順でサービスプラグを取り外す。

警告: 取り外したサービスプラグは、作業中に他の人が誤って接続することがないように、必ずポケットに入れて携帯すること。

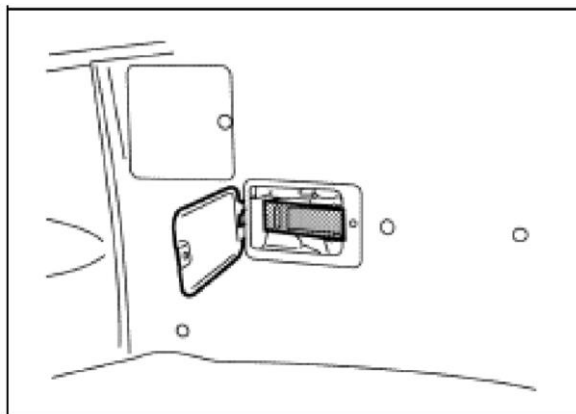


危険:  端子部に触れると感電するおそれがあるため、必ず絶縁保護具を着用すること。



警告: 外したサービスプラグコネクタは端子が露出しないよう、直ちに絶縁テープで保護すること。

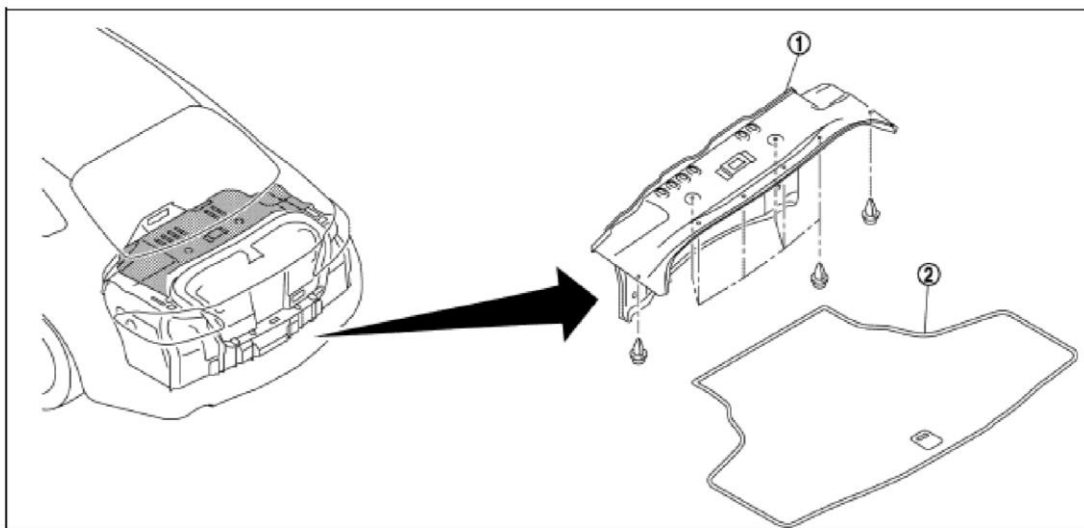
 : 絶縁テープ



4. 上記 1～3 の作業実施後、10 分以上経過してから次ページ (3) リチウムイオンバッテリー取り外し手順の作業を開始する。

(3) リチウムイオンバッテリー取り外し手順

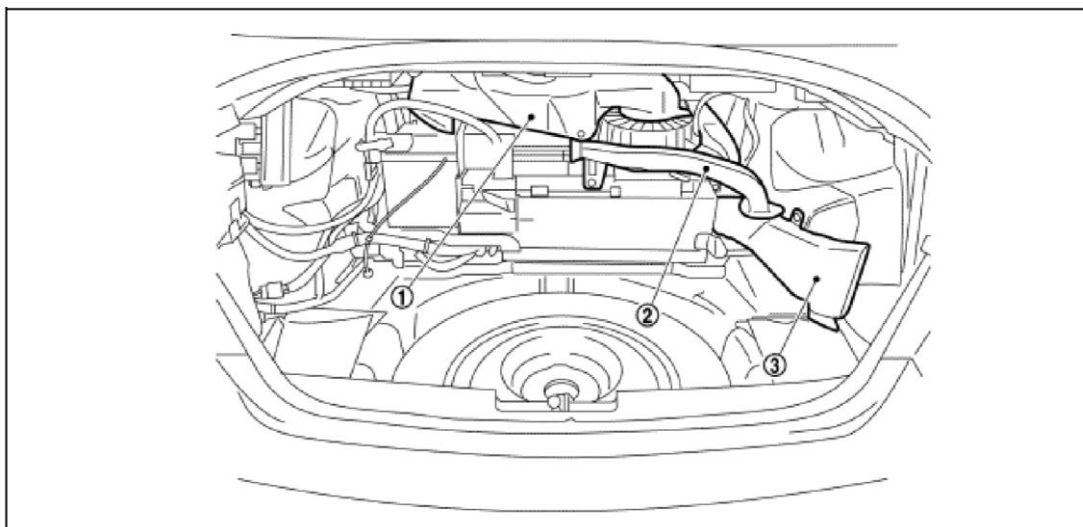
1. トランクルームフィニッシュフロントを取り外す。
 - 1-1. トランクフロアカーペットを取り外す。
 - 1-2. トランクフィニッシュフロントの取付樹脂クリップを外す。
 - 1-3. トランクフィニッシュフロントを取り外す。



①. トランクフィニッシュフロント ②. トランクフロアカーペット

2. バッテリーインレットダクト A①、DC/DC アウトレットダクト②、及びバッテリーアウトレットダクト B③を取り外す。

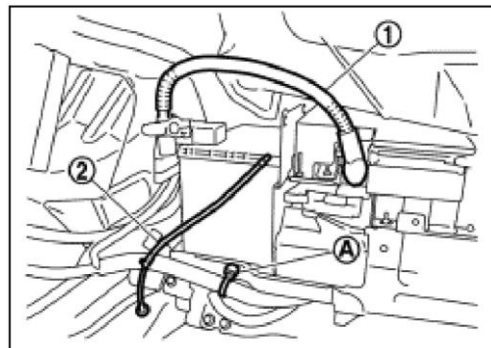
警告: 絶縁保護具を着用すること。



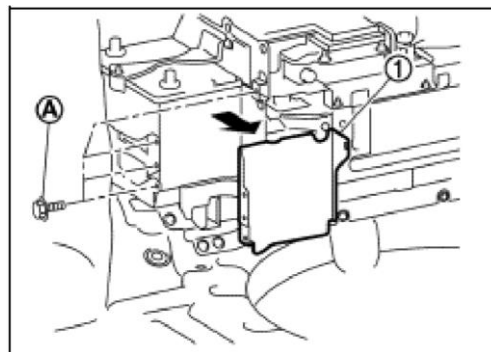
リチウムイオンバッテリー取り外し

3. DC/DC ハーネス①、12V バッテリーのガス排出チューブ②、及び高電圧ハーネスクリップ③を取り外す。

注意: ガス排出チューブを取り外す際は、ゴムの根元を持って取り外すこと。



4. 取付ボルト④を外し、12V バッテリーカバー①を取り外す。



5. 12V バッテリーを取り外す。

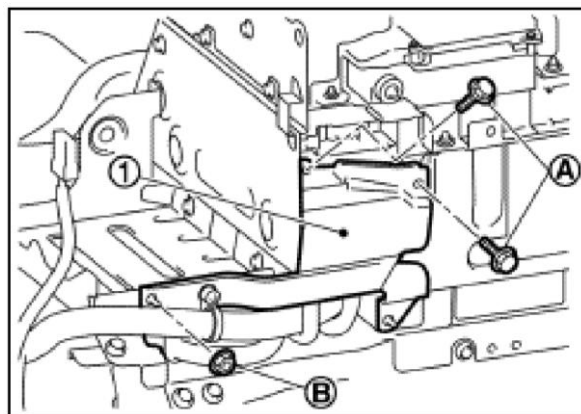
6. 端子カバー①を取り外す。

警告: 絶縁保護具を着用すること。



④ : 取付ボルト

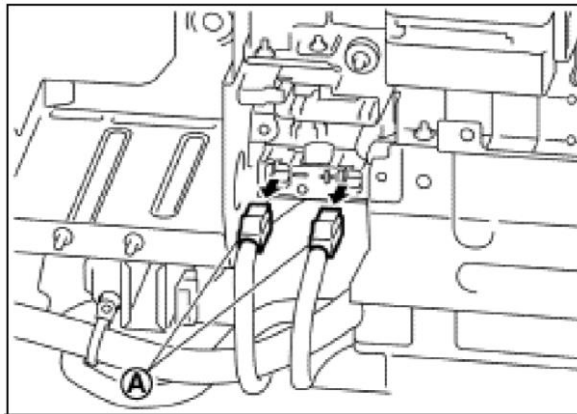
⑤ : 取付ナット



リチウムイオンバッテリー取り外し

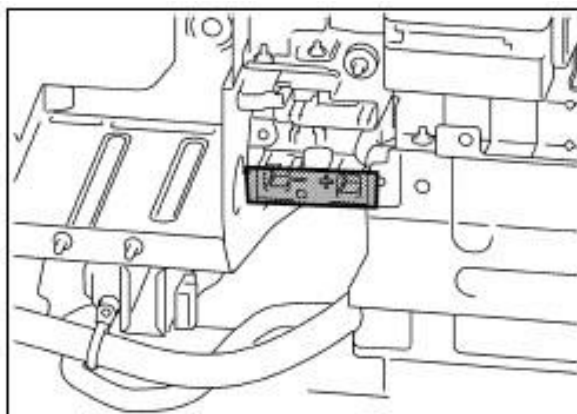
7. 高電圧ハーネスコネクタ ① を外す。

危険:  端子部に触れると感電するおそれがあるため、必ず絶縁保護具を着用すること。



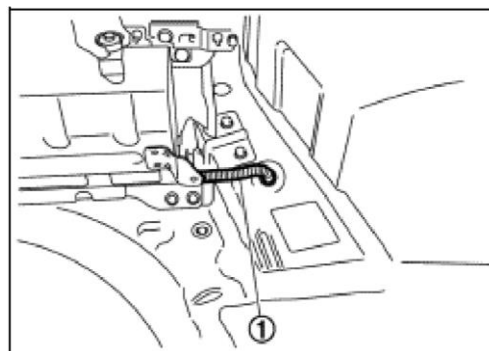
警告: 外した高電圧ハーネスコネクタの端子、バッテリージャンクションボックスの端子が露出しないよう、直ちに絶縁テープで保護すること。

 : 絶縁テープ



8. ガス排出チューブ①をゴムの根元を持って車両側排出口（車体メンバ）から取り外す。

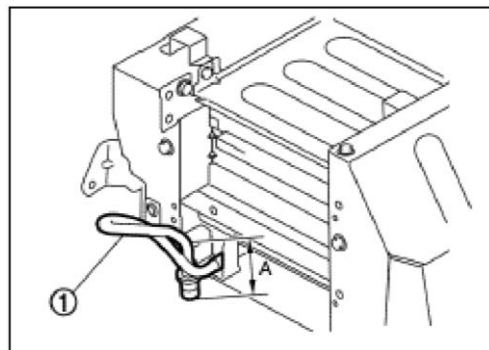
警告: 絶縁保護具を着用すること。



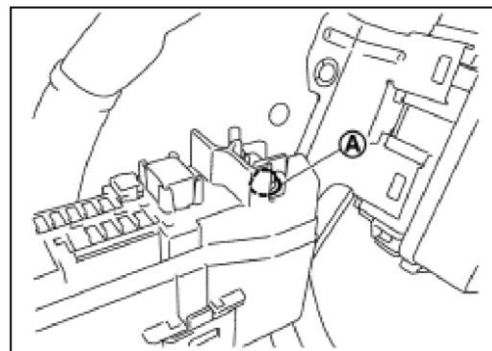
リチウムイオンバッテリー取り外し

9. ガス排出チューブ①の先端から約 15 mm A をチューブバッテリー根元に引っ掛けて、チューブ先端のフランジ部がチューブ根元から抜けないことを確認する。

警告: 絶縁保護具を着用すること。

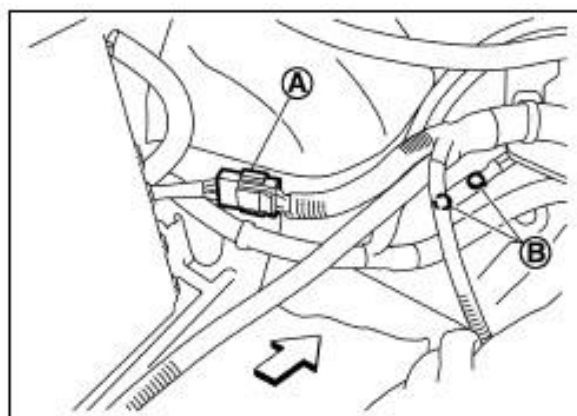


10. 取付ナット(A)を外し、トランクルーム左側の ヒューズボックスよりハーネスを取り外す。



11. キャパシタハーネスコネクタ (A) 及びアース取付ボルト (B) 外す。

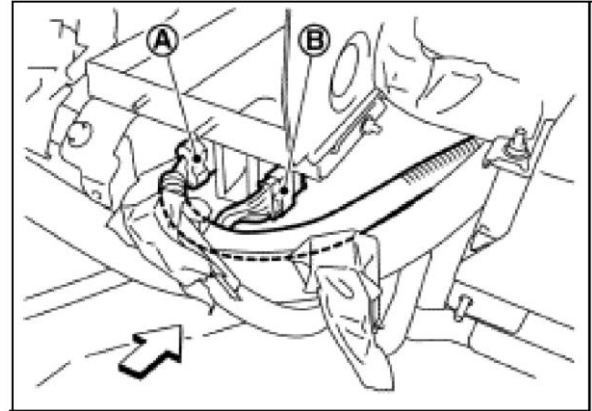
車両前方 ➡



12. 高電圧ハーネスコネクタ ①、及びハーネスコネクタ ② を外す。

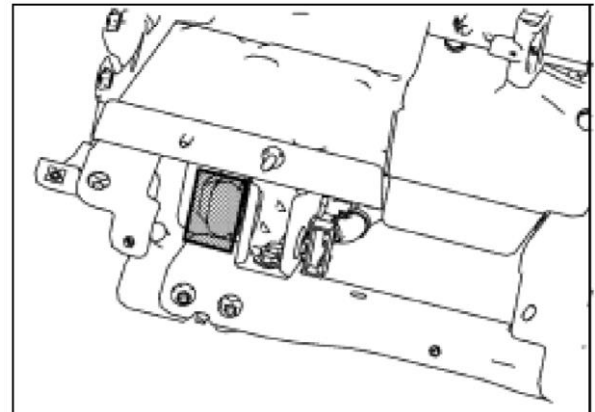
危険：  端子部に触れると感電するおそれがあるため、必ず絶縁保護具を着用すること。

車両前方 : ➡

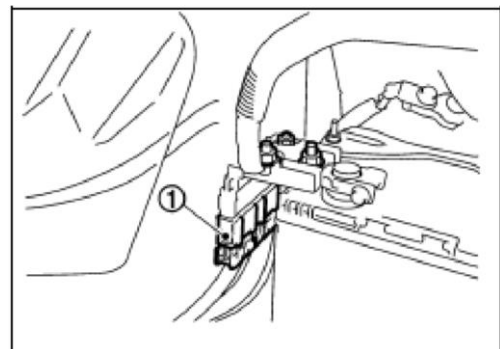


警告： 外した高電圧ハーネスコネクタ ① は端子が露出しないよう、直ちに絶縁テープで保護すること。

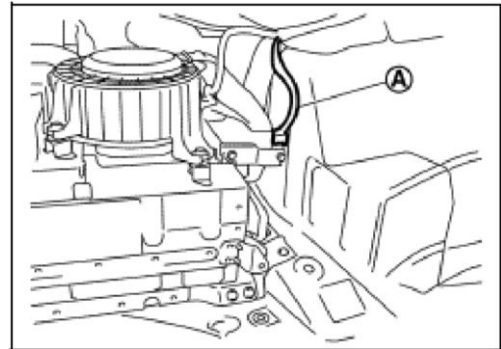
 : 絶縁テープ



13. 12V バッテリー体型ヒューズブルリンクコネクタ①を外す。



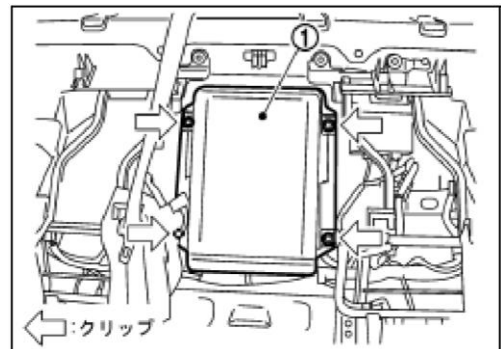
14. 大気圧センサハーネスコネクタ ① を外す。



15. リヤシートを取り外す。

(4) リヤシート取り外しの 1) ベンチシート取り外し (33 ページ)、
又はパワーシート取り外し (34 ページ) を参照。

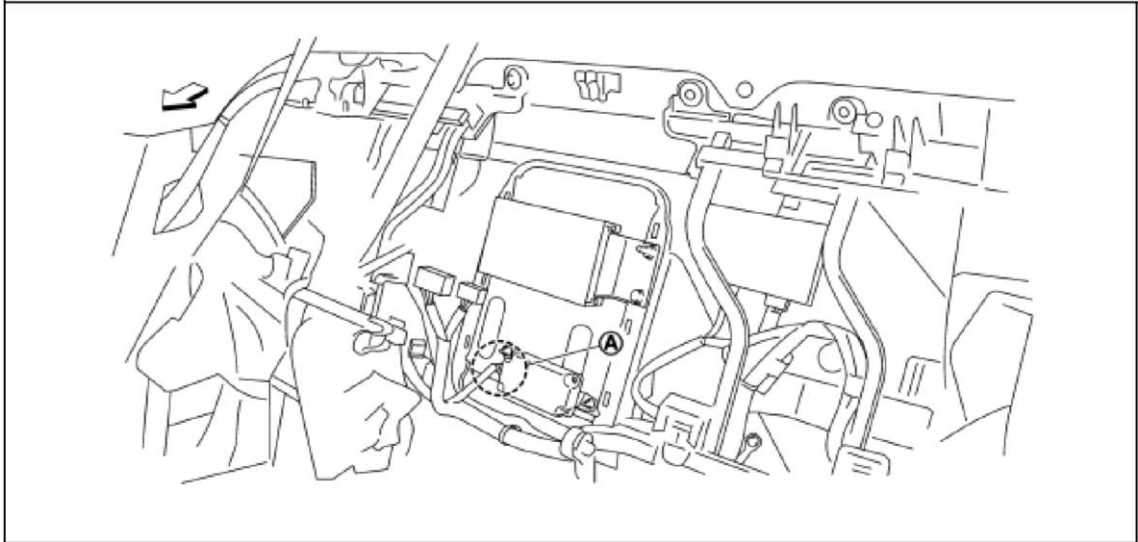
16. バルクヘッドカバー①を取り外す。



リチウムイオンバッテリー取り外し

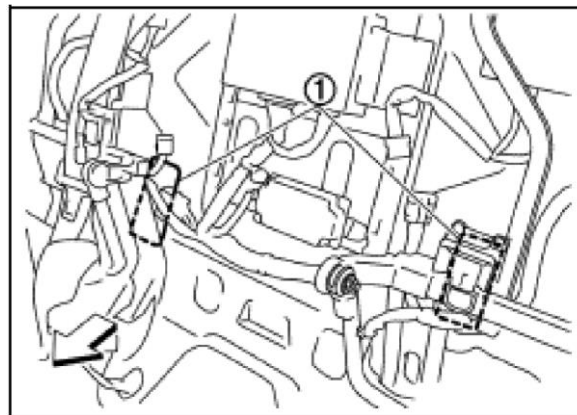
17. リチウムイオンバッテリーと締結されているコネクタ **A** を取り外す。
(室内側リチウムイオンバッテリー取付ボルトの中央 2 ヲ所が確認できる)

⇐ : 車両前方



18. リヤシートバック後方のボディパネルに貼り付いている防音シート①(銀色)を取り外す。(室内側リチウムイオンバッテリー取付ボルト両端 2 ヲ所が確認できる)

⇐ : 車両前方



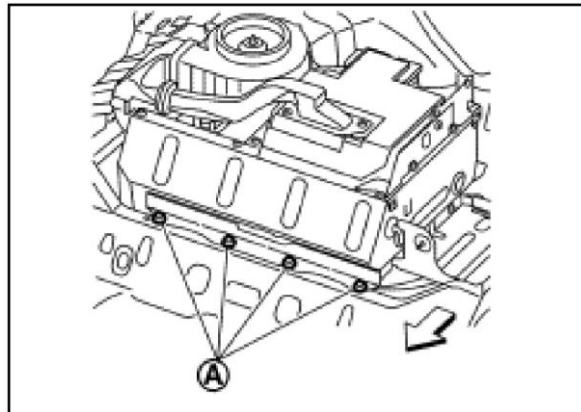
リチウムイオンバッテリー取り外し

19. 室内側からリチウムイオンバッテリー取付ボルト ① を取り外す。

警告: 絶縁保護具を着用すること。



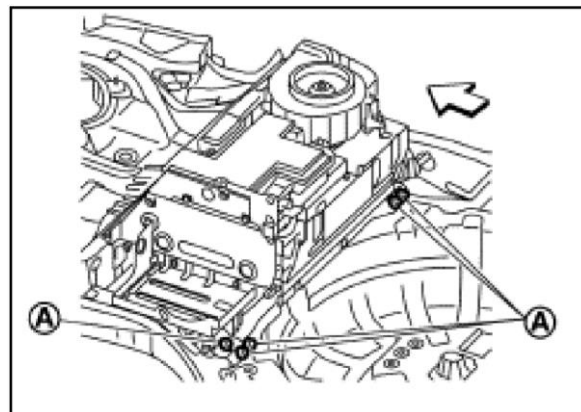
← : 車両前方



20. トランク側からリチウムイオンバッテリー取付ボルト ① を取り外す。



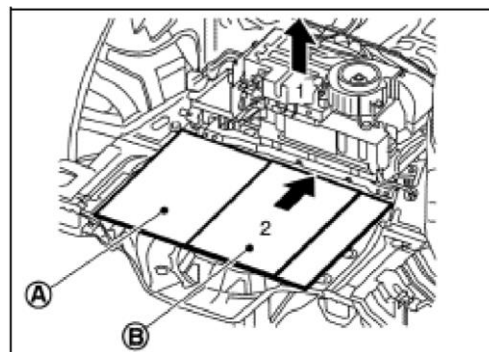
← : 車両前方



リチウムイオンバッテリー取り外し

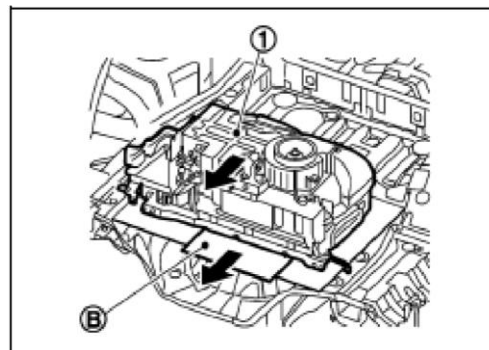
21. スペアタイヤ上にベニヤ板 ① を置き、1. リチウムイオンバッテリーを上方向に持ち上げて、2. ダンボール ② をスライドさせながらリチウムイオンバッテリーの下に入れる。

警告: 絶縁保護具を着用すること。



22. ダンボール ② と共に、リチウムイオンバッテリー①を車両後方に引っ張り出す。

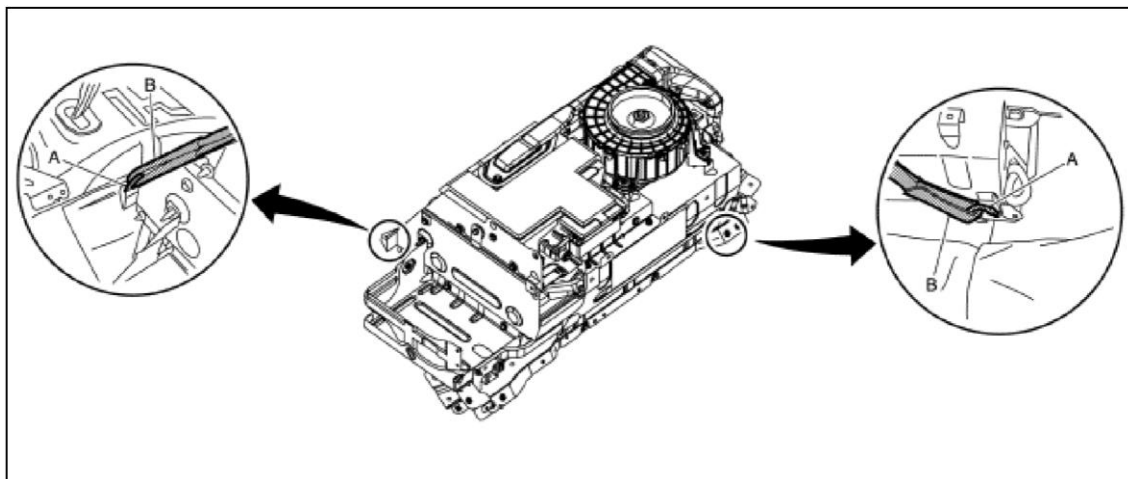
警告: 絶縁保護具を着用すること。



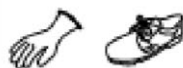
リチウムイオンバッテリー取り外し

23. 以下の要領で、リチウムイオンバッテリーをトランクルーム内から取り外す。

23-1. 図の位置にカラビナ **A** を掛け、スリングベルト **B** を取り付ける。

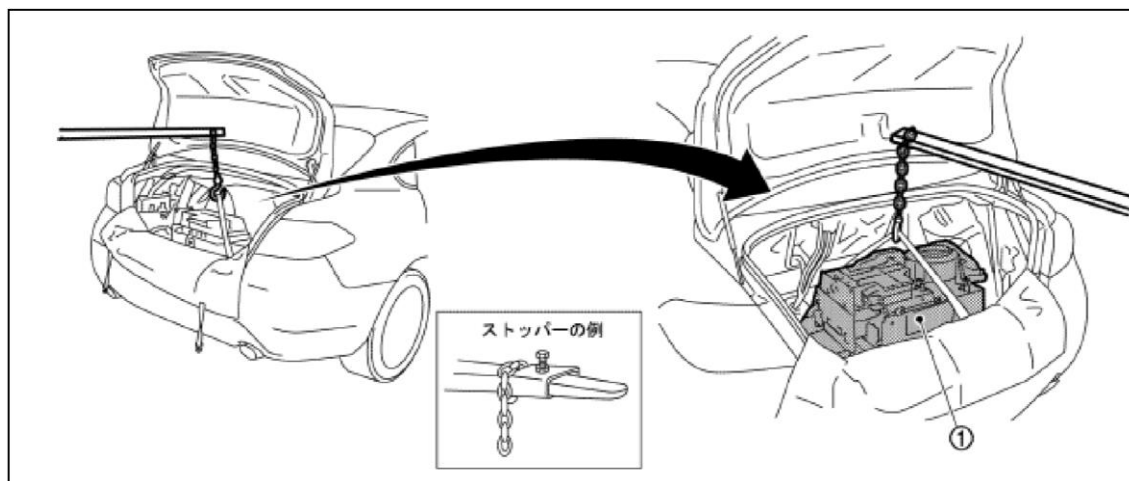


警告: 絶縁保護具を着用すること。



23-2. フォークリフト等を使用し、リチウムイオンバッテリー①を持ち上げ、トランクルーム内から取り外す。

注意: リチウムイオンバッテリーが落ちないようにフォークリフト等はストッパーを使用する。



警告: 絶縁保護具を着用すること。



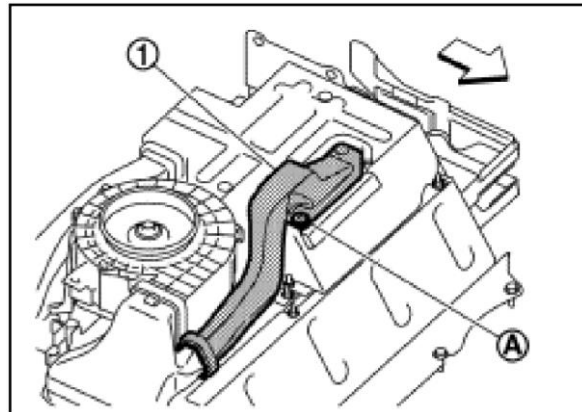
24. DC/DC インレットダクトを取り外す。

・クリップ ④ は DC/DC インレットダクト①の裏側にあるため目視することができない。
図を参考にして取り外す。

警告: 絶縁保護具を着用すること。



車両前方 ⇨

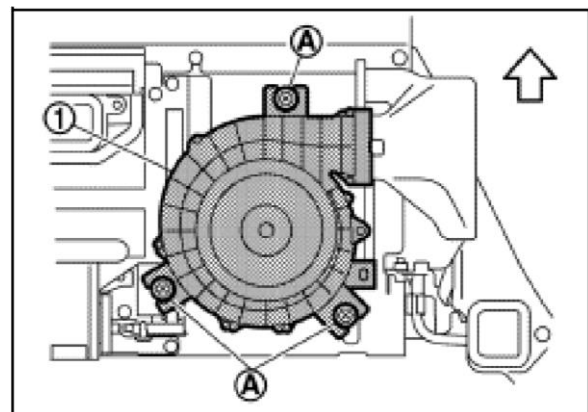


25. 取付ボルト④を外し、バッテリー冷却ファン①を取り外す。

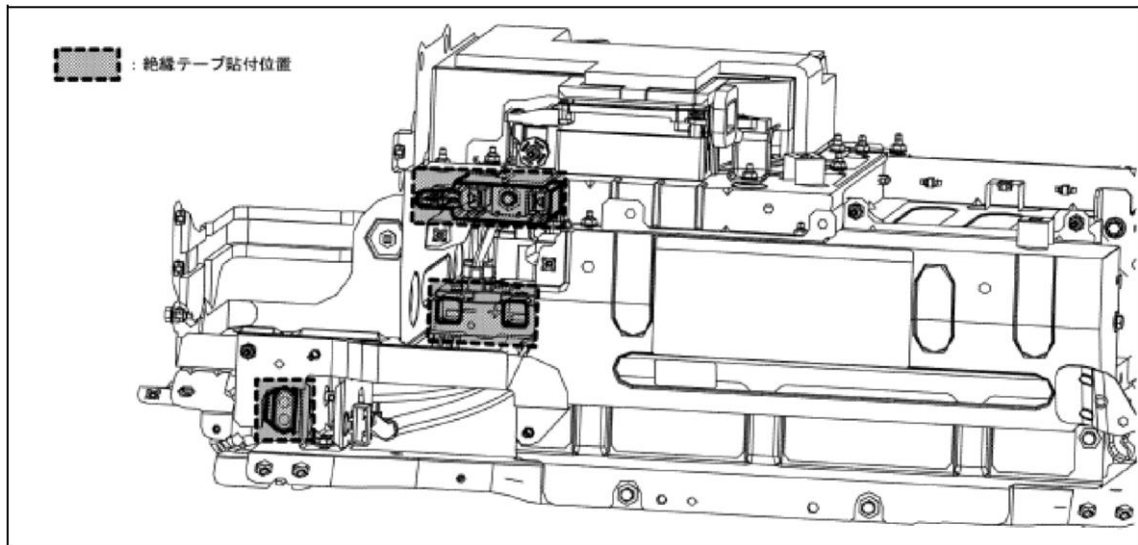
警告: 絶縁保護具を着用すること。



⇨ : 車両前方



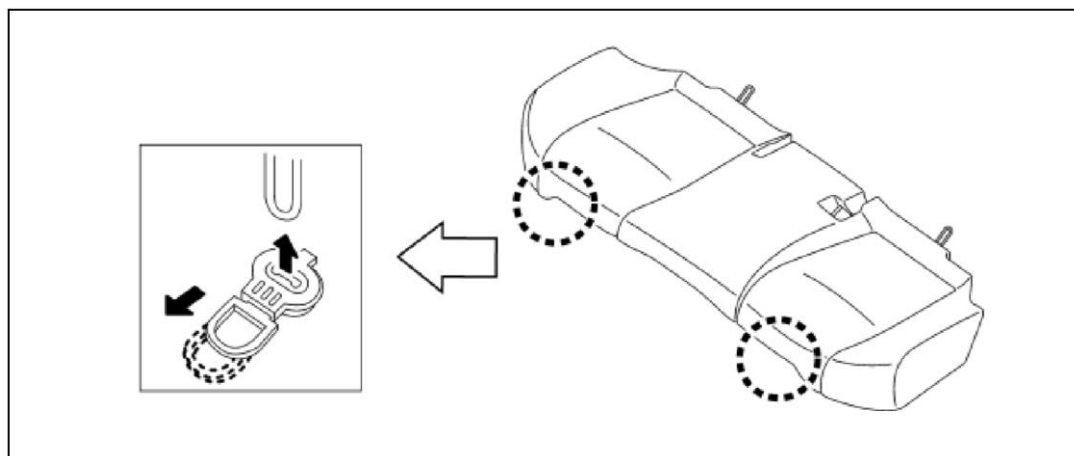
26. サービスプラグコネクタ1ヶ所及び高電圧ハーネスコネクタ2ヶ所が絶縁テープでふさがれていることを確認する。



(4) リヤシート取り外し手順

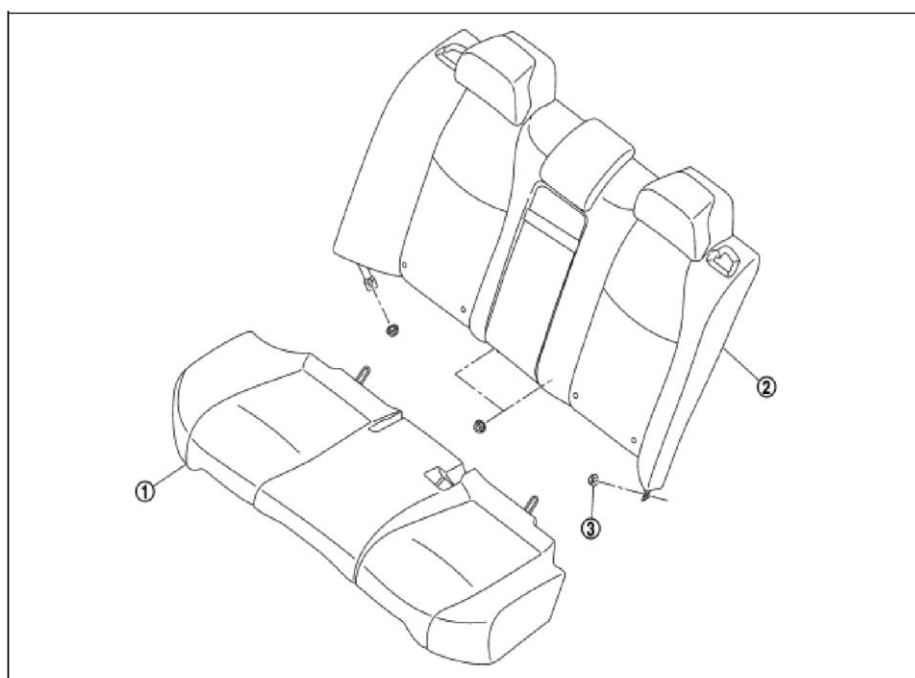
1) ベンチシート取り外し

1. シートクッションを上方に持ち上げ、シートクッションフックのかん合を外してシートクッションを取り外す。



2. シートバック取付ナット 4 カ所を外す。

3. シートバックを持ち上げ、シートバック裏側のワイヤをシートバックフックから外しシートバックを取り外す。



①. シートクッション ②. シートバックパッド ③. シートバック取付ナット

2) パワーシート取り外し

1. 左右シートクッションを取り外す。

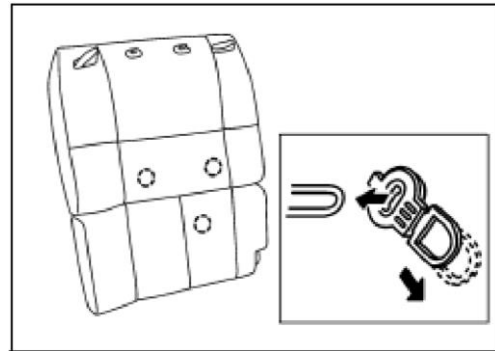
- ・シートクッションを上方に持ち上げ、シートクッションフックのかん合を外す。
- ・シートクッションヒータのハーネスコネクタを外す。
- ・シートクッションを取り外す。

2. 取付ボルト 2 カ所を外し、リヤセンタシートクッションを取り外す。

3. 全てのヘッドレストを取り外す。

4. 左右リヤシートバックサイドを取り外す。

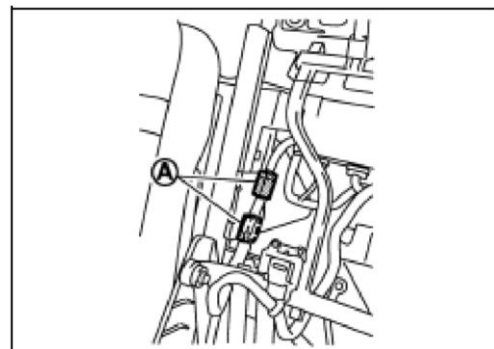
- ・シートバックサイド下部より裏面に手を入れて、樹脂フックのロックレバーを下方に引き、シートバックサイドを前側に引いてシートバック中央のシートバックフックのロック 3 カ所を外す。



- ・左右シートバックサイドを取り外す。

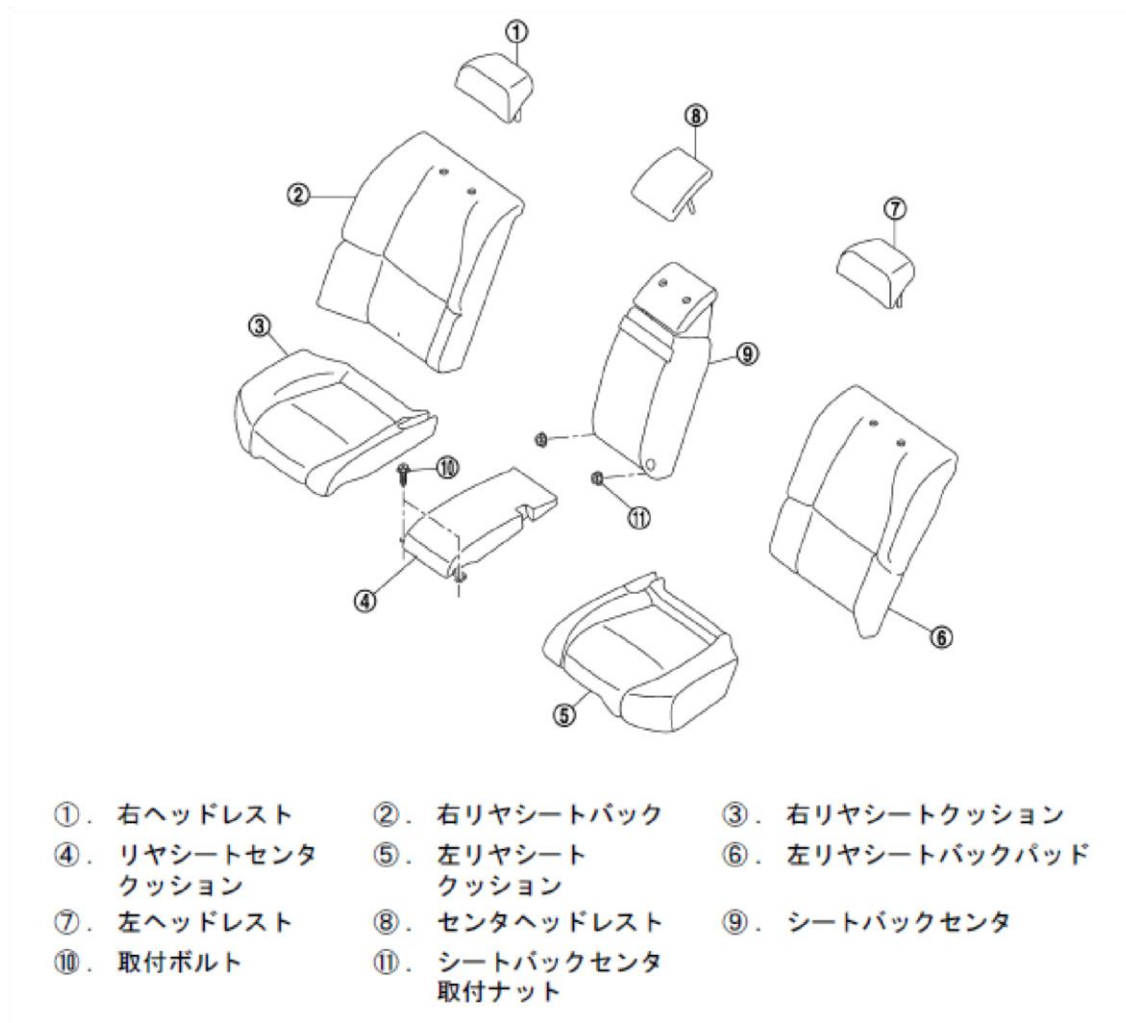
5. シートバックセンタを取り外す。

- ・シートバックセンタ両側のハーネスコネクタ ① を外す。



- ・シートバックセンタ取付ナット 2 カ所を外す。
- ・シートバックセンタを持ち上げ、シートバックセンタ裏側のワイヤをシートバックフックから外しシートバックセンタを取り外す。

パワーシート構成図



10. 引き取りの準備

輸送業者が回収日に網パレットを持参します。

発 行 日産自動車株式会社

車両生産技術開発本部
環境&ファシリティエンジニアリング部

お問い合わせ先 リチウムバッテリー回収受付窓口
ゼロエミ・ゴーゴー
Tel: 0120-083-505

本書は、著作権で保護されています。私的複製を除き、本書の全文又は一部を日産自動車(株)に無断で複製、改変などを、媒体を問わず禁止します。このような不正行為は、民事上の損害賠償の、また刑事罰の対象となります。

©Copyright2020 NISSAN MOTOR Co. Ltd., All rights reserved